

国内産原料大豆を通した地域活性化の取組 (株式会社農匠なごみ)

＜法人の概要＞

所在地：熊本県玉名郡和水町

設 立：平成24年11月

資本金：500万円

役 員：2名

従業員数：社員 4 名

経営面積：7 ha

営農作物：大豆、大麦、ニンニク、トウモロコシ、トウガラシ



(株)丸美屋の販売品



代表取締役社長の東氏（右から2番目）

＜農業参入に至った経緯・動機＞

(株)農匠なごみは、熊本県内を中心に「お城納豆」や「こるまめ（乾燥納豆）」等の納豆、豆腐の製造・販売を手掛けている(株)丸美屋（和水町）の子会社として、原料大豆の国内産大豆のシェアの拡大による原料価格の安定化、九州沖縄農業研究センターとの連携による国産大豆の普及・推進及び大豆を通した地域特産品開発や6次産業化に伴う雇用創設による地域活性化を目指して平成24年11月に設立した会社である。

＜農業参入することを決めてから営農開始まで＞

参入に当たっては、熊本県、山鹿市、地域農業者と「農業参入協定」を締結し、地域の農業における役割分担や環境保全への協力についての取り決めを行い、地元地域への配慮、調和等を行政と一体となって構築したところである。

用地については、山鹿市の農業者の協力の下、耕作放棄地 1 haを借り入れて開始し、熊本県の農業参入企業支援強化事業の補助事業により土地の簡易な基盤整備や播種機やコンバイン等の機械の整備を行ったところである。

栽培品目については、納豆・豆腐の原料である大豆のほか、親会社の(株)丸美屋が持つ直売所 2 か所での農産物販売に対応するため、ニンニク、トウモロコシ、トウガラシの品目について有機栽培を行うこととしたところである。

＜営農開始から現在まで＞

平成27年 9 月現在において、所有地 1 ha、借入地 6 haの農地で営農を実施しているが、規模拡大にあつては、山鹿市農業委員会の協力はもとより、近年は、農地の日頃の良好な草刈り等のほ場管理をみて、近隣の個人農家からの貸出申し入れが多くなった。

栽培技術の習得については、現在の従業員は農業経験の浅い者が多く、主に地元等の大豆栽培を行っている先進農家から得ることが多い。

また、(株)丸美屋の原料調達については、農匠なごみの他、13戸の農家による契約栽培を実施しており、熊本県内のほか、沖縄県等の農家に栽培を委託して病害発生等に伴う収量減のリスク分散を行っているところである。

＜今後の農業経営の展開方向＞

現在、経営面積は 7 haであるが、将来は山鹿市のほか、近隣の南関町、和水町毎に 5 haの農場（計15ha）で営農を行うことを目指しており、更なる輸入原料大豆から国産大豆のシェア拡大を図っていきたいと考えているところ。

地元の活性化については、6 次産業化の取組に併せて加工品場を整備し、雇用による活性化を図るとともに旧三加和町の物産館において特産品の開発を行いたいと考えているところである。

また、熊本県にある九州沖縄農業研究センターと連携して、新たな大豆の品種改良に取り組み、開発した「色大豆」を有機栽培で行う等の付加価値を付けて国産大豆の普及に一層取り組みたいと考えているところである。

＜今後農業に参入しようとする法人に対するアドバイスや行政への要望事項など＞

農業参入に当たっては、主となる事業を明確にし、それに見合う設備投資の規模、必要な栽培技術及び販路の確保など、事前の十分な検討が必要と考える。

今後は更なる国産需要が高まると考えられ、ニーズに応えられる体制を整える事が重要である。



大豆栽培の風景